

「戸田市公園リニューアル計画（案）」についてのご意見に対する回答

* 貴重なご意見ありがとうございました *

案 件 名 戸田市公園リニューアル計画（案）について
意見募集期間 令和2年12月4日（金）から 令和3年1月4日（月）まで

パブリック・コメントとしてご意見を募集した結果、9名の方から36件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する市の考え方を次のとおり公表いたします。

【ご意見の概要とご意見に対する市の考え方】

	ご意見の内容	市からの回答（対応）
1	それぞれの公園に、ここは子供の遊び主体の公園、ここは市民のコミュニティの公園など役割を分けて作ることで、分かりやすく、ニーズにあった人が集まって、公園も生きてくるのではないか。	これまで市内の公園は似通った公園が多くありました。公園のポテンシャルと利用状況を考慮しながら、機能の集約と分担を図ってまいります。
2	公園の維持管理に年間4億円かかっている削減しなくてはならないということは分かるが、そのために遊戯エリアの有料化はしないで欲しい。	遊戯エリアの有料化の予定はありません。市民・事業者・行政との協働による公園運営等を推進していくことで、維持管理費の抑制に努めてまいります。
3	子供主体の公園には売店などをつけないで欲しい。お金のある子ない子の間で買える買えないの問題も出てきてしまうと思う。売店やカフェは子供の遊び場の公園以外を考えて、子どもの遊び場の公園には商業化を持ち込まないで欲しい。	公園に賑わいをもたらす取り組みの一つとしてキッチンカー等の活用を検討しておりますが、いただきましたご意見については十分配慮して進めてまいります。

4	<p>公園の維持費の捻出のために、トイレや東屋の屋根をソーラーパネルに変えるなどの工夫をしてみてもどうか。</p>	<p>今後の公園整備や維持管理については、ソフトとハードの両面から公園の在り方を再検討していきます。その中で、ソーラーパネルの設置も費用対効果等を研究してまいります。</p>
5	<p>子供の遊び主体の広めの公園がそれぞれの小学校の近くにあると良い。毎日のように通える場所にある程度の広さの子供主体の遊び場がある事が必要だと思う。学校が終わってから日没までは思ったより時間がなく、家や学校から比較的近くて、すぐ行ける場所に必要だと思う。</p>	<p>本計画は、既存公園の基本的役割を高めるリニューアルを目指すものとなりますので、現時点では、公園の位置や広さの変更は考えておりません。</p> <p>小学校に近い公園のリニューアルを検討する際は、公園の役割・機能の分担において、子ども主体の遊び場という視点を含め、検討を進めてまいります。</p>
6	<p>せせらぎや噴水などは小さい子供だけでなく小学生も楽しめるように水の出る時間を調整してほしい。</p>	<p>現在の時間帯は、近隣にも配慮した時間になっております。今後、水景施設の利用については、ワークショップ等において公園の在り方を考えるなかで検討を進めてまいります。</p>
7	<p>夏、お昼の公園の日差しは強いが、けやきの木の木陰のおかげで東屋がなくても過ごしやすい、冬場は葉が落ちて日当たりが良くなり、自然の力の凄さを感じ、感謝できる。シンボルとして必要とするわけではないが、木があるから蝉などを捕まえ、観察したり、落ち葉で遊ぶこともできる。</p> <p>費用もかかると思うが、今ある木々を大切にしてほしい。</p>	<p>公園樹木については、「公園等における高木の管理方針」に基づき、管理しております。これは公園内の樹木を健全に管理する方策を示しているもので、やむを得ず伐採する場合にも、原則として補植をしていくこととしております。</p>

8	<p>パークトラックは近くに思った公園がない人たちの解決策につながるのではないかと。子供の遊びの専門家が車に乗って一緒に公園まで来てくれたら、それを目当てに人が集まって活性化すると思う。</p>	<p>本計画の推進にあたり、多様な活動主体と連携しながら、今後の公園活用について検討を進めてまいります。</p>
9	<p>ゴミ箱をつけて欲しい。毎日の様にゴミを拾って自宅に持ち帰っているが、中にはタバコやお酒の缶、瓶などもある。</p>	<p>公園の美化にご協力いただき、ありがとうございます。</p> <p>ゴミ箱については、以前は設置しておりましたが、家庭ごみが捨てられるなどの事情から、やむを得ず撤去いたしました。</p> <p>マナー向上とともに地域の方々の協力を得てごみ収集をしていただくことで、公園に愛着が生まれ、ごみのポイ捨ては以前より減少しております。</p> <p>ゴミの問題は、市民協働にて対応するとともに、より良い対応策の検討を進めてまいります。</p>
10	<p>危険だとクレームが入ると遊具がすぐ撤去されてしまう事を残念に思う。小さい子には危ないかなという遊具には近くに保護者の方が目を離さないようにとの看板を立てるなどして、保護者がしっかり注意して見ている事の方が大事だと思う。</p>	<p>遊具の撤去につきましては、遊具の安全に関する基準に基づき検討したうえで行ってまいります。</p> <p>また、「遊びの文化」は世代により変遷しており、今日では以前に増して安全な遊び方を教えることは保護者の大切な役割になっています。</p> <p>今後、ワークショップ等で公園の在り方を考えるなかで、この視点も含めて検討を進めてまいります。</p>

1 1	<p>特徴のある公園の中の一つにプレーパークのような子供達が自由な発想や考えで、のびのびと遊べる公園があったら良いと思う。遊びのプロの方は子どもの遊びへ興味関心を引き出すだけでなく、いろんな事の相談に乗ってくれると思う。</p>	<p>今後、ワークショップ等で公園の活用方法の見直しも行われる予定です。プレーパークもその見直し方策の一つであると考えています。</p>
1 2	<p>経済的な事情や家庭的な事情により、お金がないと遊べない・体験できないといったマイナスな体験や感情を子ども達が抱くことが少ないように配慮してほしい。</p>	<p>多様な主体が公園で活動するなかで、参加料等を徴収するイベントが開催されることも考えられますが、過度な負担とならないよう働きかけや工夫を研究してまいります。</p>
1 3	<p>いつでも・誰でも遊べる場所として公園があることで、幼少期に遊び、友達と冒険をし、かけがえのない体験が思い出となり、愛着が生まれ、戸田市への定住が見込まれる。社会福祉の視点を持って、公園のリニューアル化計画が進むよう願う。</p>	<p>子どもの居場所としての公園の役割も非常に重要なものと考えております。</p> <p>今後の検討のなかで、いただきましたご意見を反映してまいります。</p>
1 4	<p>プレーパークを公園の一面に整備してほしい。思い切り遊ぶ環境づくりには地域の方との調整や関係作りが必要不可欠であり、その調整役として子どもの目線や気持ちを代弁することのできるプレーワーカーの育成・配置を望む。</p>	<p>プレーパークについては、公園活用の方策の一つであると考えています。</p> <p>プレーワーカーの育成・配置につきましては、子育て施策と連携しながら検討を進めてまいります。</p>
1 5	<p>経験上、子どもが求める公園には条件があり、その公園ならではの特徴（遊具や地形など）が魅力的なことがその一つ。</p> <p>市内には似たような公園が多く、残念に感じていた。ハード面のリニューアルによって、魅力的な公園が増えたら良い。</p>	<p>今後は、公園のポテンシャルカルテを作成し、誘致圏内が重なる近隣の公園と機能の集約・分担をすることで、それぞれの公園の個性を引き出し、より魅力的な公園としてまいります。</p>

16	<p>平日の日中は、公園に子連れの様子がまばらであり、日常的に遊ぶ近所の公園友達との出会う機会が少なかった。P.35に記載されている【公園イベントによる活性化】などで、出会う機会を公園にぜひ設けて欲しい。</p>	<p>本計画を推進していくなかで、公園で活躍する多様な活動主体の掘り起こしを行っていく予定です。</p> <p>その活動のなかで、様々なイベントや取り組みが行われていくものと考えております。</p>
17	<p>市内公園のあちこちに、外遊びをサポートしてくれる遊び専門スタッフがいてくれたら非常に助けられたらと思う。公園遊びのノウハウを伝授してくれる遊びのプロのスタッフが公園に来てほしい。</p>	<p>子どもにとって「あそび」は、健全な発育上、重要なものであると考えています。</p> <p>プレーワーカーの育成・配置につきましては、子育て施策と連携しながら研究してまいります。</p>
18	<p>1～2歳の子どもには、1日3時間以上の運動が推奨されており、外遊びの大事さを知る機会を増やしてほしい。遊びの現場のプロの方の講演会を開催してはどうか。</p>	<p>遊びに関する講演会開催のご提案につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>P.23にある「公園機能の分担」を活かし、制限や禁止なく、自由に遊べる公園を一部に用意してあげられないか。</p>	<p>公園における制限や禁止は、ワークショップ等で検討してまいります。</p> <p>また、プレーパークについても、公園活用の方策の一つとして考えておりますので、多様な活動主体と連携して進めてまいります。</p>
20	<p>日除けはベンチの上だけではなく、遊具や砂場の上にも設けてほしい。</p> <p>ただし、せっかく木陰が多くても蚊がたくさんいては遊べなくなってしまうため、遊具や砂場にほどほどに木陰をもらえて、蚊も大量発生しない公園を望む。</p>	<p>遊具に木陰以外の日除けを設けることは、事故につながる危険性があるため設置しておりませんが、暑いなかでも滞在していただける環境づくりを検討してまいります。</p> <p>公園内における蚊の問題につきましても、発生しない環境づくりを検討してまいります。</p>

2 1	砂場について、砂粒が不均一で荒くなっており、質が悪いところが多いため、整備してほしい。	砂場については、適宜、粒度調整済みの砂を補充しています。雨が降ると水で締まり、固くなるため不均一に感じることがありますので、砂場の均し方を研究いたします。
2 2	菓子袋などのゴミが非常に目立つ。公園にごみを捨てる場所があり、きちんと捨てられたほうが教育上良いのではないかと。リニューアル計画を機に、再び設置を検討してほしい。	ゴミの問題につきましては、以前より減少はしているものの、ご意見をいただいているところです。 今後も、市民協働にてより良い方策の検討を進めてまいります。
2 3	戸田公園駅という名前なのに、駅前に大きな公園がない。戸田市の大きな公園は荒川沿いにあるが、アクセスが悪くて、飲食するにも不便で使いづらい。駅前にシンボル公園ができてほしい。	戸田公園駅の駅名は、かつて東京オリンピックのボート会場となった県営戸田公園に由来しています。 また、戸田駅の西口、東口付近には、土地区画整理事業に伴い、公園の新設が予定されております。 公園の新設にあたっては、多くの方に親しまれるよう市民と協働で計画してまいります。
2 4	公園維持管理費の削減をするのはやめてほしい。心身のリフレッシュ効果で生産力をアップさせ、税収を伸ばし、町の魅力をアップさせ、転入を増やし、心身の健康をアップさせ、医療費を減らすという、喜んで市税を注いでよい分野だと思う。	公園維持管理費は、新規の公園整備を控えていることから、今後さらに増加することが予想されます。そのため、支出の抑制、収益性及び利便性の向上を図り、公園の魅力を減退させることのないよう配慮してまいります。 また、p.46 にあるとおり、指定管理者制度や公募設置管理制度を活用した民間活力の導入についても検討を進めてまいります。
2 5	公園に対する子供のニーズと老人のニーズ、両方に対応できるよう、公園機能をうまく棲み分けてほしい。同時に、世代間の交流も必要であり、案にあったパークトラック	公園機能の集約と分担により、多くのニーズに対応できるよう検討してまいります。 また、積極的に活動主体を掘り起こしていくことで、世代間交流にも寄与

	<p>を利用し、世代間の交流や地域の交流ができれば良い。</p>	<p>する様々な取り組みが行われていくと考えています。</p>
26	<p>P.39にある“モバイル遊具”の取り組みに賛同する。豊島区のパークトラックのような、可動式遊具+カフェ機能+図書館の試みをぜひ行ってほしい。</p> <p>市民がボランティアスタッフとしてかかわることで、パークトラック事業がより地域に根付いた試みになるのではないか。</p>	<p>ご賛同いただき、ありがとうございます。</p> <p>モバイル遊具については、今後の公園活用の一例として挙げましたが、本計画を推進していくなかで、多様な活動主体と連携し、公園がより賑わいのあるものとなるよう努めてまいります。</p>
27	<p>パークトラックについて、子どもたちの創造的な遊びを広げたり、地域の交流を深めたりするためには、専門知識ある、パイプ役となる人材（プレーリーダー）が必要となる。</p> <p>プレーリーダーは遊びの環境を整えるだけでなく、子育て世代の相談に乗ったり、地域の方の話し相手にもなれる存在となる。</p>	<p>今後、ワークショップの開催や、活動主体の掘り起こし、子育て施策との連携を実施していくなかで、プレーリーダーの設置の可能性についても検討を進めてまいります。</p>
28	<p>プレーパークは埼玉県が提唱する、子供の居場所の三本柱の一つとなっている。戸田市でも公園利用の一つの形として、冒険遊び場づくりの活動を進めてほしい。</p>	<p>プレーパークについては、公園活用の方策の一つとして考えております。多様な活動主体と連携して進めていくように研究してまいります。</p>
29	<p>計画案の中に、大人目線の計画が多々あり、こどもの健全な育成のための公園という視点が抜けているようで気になる。生活に密着した児童の放課後の居場所における公園の役割をもう少し大切にしてみたいのではないか。</p>	<p>本計画では、「公園を使いこなす」という視点から多様なニーズを受け入れるソフトの導入等について記載しております。これまでと同様に子どもにとって遊びは重要であることから、P.36の「イベント例」や、P.39の「②新たなニーズへの社会実験」の具体例の中で、子どもを対象とした公園利用について挙げております。</p>

		<p>また、子どもの居場所については、子育て施策と連携しながら検討を進めてまいります。</p>
30	<p>公園に行くと週に3回、よくゴミ拾いをしているが、子ども達の捨てたであろう菓子袋から、大人の酒缶、弁当、おかず、たばこのゴミなどがあり、個人のモラルに頼るだけの対策では追いついていないと感じる。ゴミ箱があってもいいのではないか。</p>	<p>公園の美化にご協力いただき、ありがとうございます。</p> <p>ゴミの問題につきましては、様々な意見が寄せられており、苦慮しているところです。</p> <p>今後も、市民と協働してより良い対応策を検討してまいります。</p>
31	<p>目指す公園像「公園運営を担う活動主体を掘り起こし、積極的な公園利用を促すことで、賑わい、活力にあふれた楽しめる公園を目指します。」に賛成する。</p>	<p>賛成いただき、ありがとうございます。社会実験等を通じて、積極的な公園利用を促してまいります。</p>
32	<p>「～してはいけません」ではなく、「～ができます」という、ポジティブな公園看板が今後増えることを望む。</p>	<p>本計画では一例として豊島区の事例を挙げましたが、今後ワークショップ等において公園の在り方を考えるなかで検討を進めてまいります。</p>
33	<p>今までの市内の公園は、同じような遊具があるだけの画一的なものが多かった。P.40にもあるように、これからはそれぞれの公園が役割分担され、特色ある公園が増えていくと、より利用するのも楽しくなるのではと思う。</p>	<p>隣接する公園間で役割・機能を分担することで、公園に個性が生まれ、様々なニーズにも対応しやすくなると考えています。個々の公園がより魅力的となるよう、リニューアルを進めてまいります。</p>
34	<p>P.49にある豊島区の例のように、「〇〇できない公園から〇〇できる公園へ、禁止ではなく“できる”を伝える」というコンセプトはとても大事なのではないか。</p>	<p>公園内におけるルールをどのようにし、どう伝えていくかについて、今後ワークショップ等において検討を進めてまいります。</p>

35	<p>P.6「観点2：民との連携を加速する」について、市役所内で横軸連携を行い、他の部・課で実績がある民間団体に意見や情報提供を求めてほしい。いきなり民間団体を探す・募集するよりも口コミ効果で早く適切な情報にアクセスできると思う。</p>	<p>公園を活用する機会を均等にするため、公募により行うこともあります。他課との情報共有や先行事例の研究を進め、事業の参考としてまいります。</p>
36	<p>今の公園は日中人がおらず、一人で入ることを躊躇してしまうことがある。カフェ機能を持ったパークトラックが近くの公園に来てくれることで人が集まり、密にならない程度に人がいて賑わう公園で、近所の方にご挨拶したり、顔見知りになれたりすると嬉しい。</p> <p>ドイツの移動式遊び場のようであれば、イベント性もあり、遊びに行ってみたいと思う方も増えるのではないかな。</p>	<p>公園で活躍する多様な活動主体を掘り起こし、連携していくことで、公園がより賑わいのあるものとなるよう努めてまいります。</p> <p>また、ドイツの移動式遊び場につきましては、参考とさせていただきます。</p>